

後期一斉委員会

後期の委員会活動に向けて、一斉委員会が行われました。第1回目は組織作りとして2年生から委員長を決め、活動目標、活動内容の確認をしました。各委員会で、委員長の立候補者が多数いたと報告を受けています。積極的に取り組む姿勢が素晴らしい！そんな意欲的な人たちがみなさんの生活を支えています。ひばりがさらに良い方向に進んでいけるように、活躍することを期待しています。

前回に続き、職場体験のしおりの中の『「働くということ」「将来のこと」について考えたこと』に書かれていたことを抜粋して紹介します。今回はE組です。



E組

職場体験を通して、働くということには人と接すること、コミュニケーションは必要不可欠だということを実感した。職場体験先の銀行に行き、グループワークやプレゼンが働く上で大切だと学んだ。グループワークでは、人とどのように話し合うか、人の意見をどのように聞き入れるかが重要になると知った。プレゼンでは、人に自分の意見を説明し、納得してもらうことがとても苦労することだと知った。

E組

自分にあった仕事内容で、自分が楽しめたり、自分がこの仕事について良かったとしっかり思える仕事に就きたいと思った。小学校の先生から話を聞くと、大変だったりするけどそれ以上に嬉しいや楽しいなどの方が大きいということを知ることができた。将来のことを考えるときに頭に入れておきたい。



E組

普段、様々なお店などを使っているのですが、接客してもらうことがたくさんあった。今度は、自分が接客する側に立った。普段してもらっていることの大変さがよくわかった。また、いつも気持ちよくお店を利用できている理由がよくわかった。そうじをしたり、お客さんのために思って仕事をする事ができた。

E組

将来、働くときに自分はどのような職場につきたいのか。自分の活かせるような長所をのばして短所を改善していくことを考えた。自分に合った職場につくことがとても大切だということも考えた。どの職場も楽しいこともつらいこともたくさんあるけれど、それを自分がどうとらえるかで見方は変わってくると思う。

E組

職場体験先の幼稚園では、先生たちが心から楽しそうに子供たちと触れ合っているように見えた。自分は最初、子供たちとちゃんと関わられるか心配だったが、2日目には自分も心から楽しく子供たちと触れ合うことができ、やりがいを感じた。このことから、働く理由は、様々なやりがいを感じられるからだと考えた。やりがいを身をもって体感できて良い体験となった。

